

「SL冬の湿原号」「流水ノロッコ号」ご利用状況について

JR北海道では、今年度の「SL冬の湿原号」「流水ノロッコ号」の運行を終えました。今年度は好天にも恵まれ、道内外から多くのお客様にご利用いただきました。平成23年度の、両列車のご利用状況を下記の通りご報告いたします。

■乗車実績

1 SL冬の湿原号（釧路～標茶間）

平成23年度の総乗車人員は、運転日の増加もあり15,100人と多くのお客様にご乗車いただきました。

好天にも恵まれ、個人旅行や、地元のお客様が増加し、訪日旅行のお客様にも一定程度のご乗車をいただきました。

（釧路～標茶間 1日1往復 上下計）

	乗車計(人)	乗車平均(人) (1日あたり)	計画運転日数(日)	運転日数(日)	運転日
本年度	15,100	275	55	55	1/21-31,2/1-29,3/1-11、17-20
前年度	14,000	358	39	39	1/22,23,29-31,2/1-28,3/1-6
増減	1,100	-83	16	16	
対前年比(%)	107.9%	76.8%			

※川湯温泉延長運転：本年1/21、22、3/19、20（4日間）
前年1/23、24（2日間）

※重連運転：本年2/27 前年1/31

※SL逆向き運転：本年1/30、31 前年2/26、27

※SL逆向き重連運転：本年2/1 前年2/28

2 流水ノロッコ号（知床斜里～網走間）

平成23年度の総乗車人員は、運転日の増加もあり24,950人と前年よりも5,050名増加しました。流水初日は昨年より早かったものの、流水接岸は2月17日と例年より遅かったことから1日の乗車平均は前年を下回りました。

	乗車計(人)	乗車平均(人) (1日あたり)	計画運転日数(日)	運転日数(日)	運転日
本年度	24,950	499	51	50	1/21-31,2/1-29,3/1-11 ※2/2運休
前年度	19,900	538	37	37	1/29-31,2/1-28,3/1-6
増減	5,050	-39	14	13	
対前年比(%)	125.4%	92.8%			

（知床斜里～網走間 1日2往復 上下計）

※乗車平均は運休列車を除く（平成23年度）

網走では平成24年1月17日に流水初日、2月17日に接岸初日となりました。平年より15日遅く、昨年より19日遅い流水接岸初日です。（平成24年3月23日現在、海明けはまだ発表されていません。）

※流水初日とは、流水が視界に入った日。

※接岸初日とは、流水が接岸、または定着氷と接着して船舶が航行出来なくなった最初の日。

※海明けとは、全氷量が5割以下になり、かつ沿岸水路が出来て航行が可能となった最初の日。